

プレスリリース

情報解禁：2022年3月4日(金) 15時00分



2022年3月4日
株式会社レゾナージュ

外出困難者 総勢14名が分身ロボット「OriHime」で石川瑠華と共に演！ 距離とからだの壁を越えた表現の記録。

ドキュメンタリー映画「ここに、いる。～分身ロボットと創る『星の王子さま』～」

3月4日(金)15時より神奈川県公式YouTubeチャンネル「かなチャンTV」にて配信開始。

視聴URL：<https://youtu.be/Zkr01dPUivg>

公開日時：2022年3月4日(金) 15時00分

2021年度 共生共創事業プロデュース OriHimeプロジェクト 制作作品（ドキュメンタリー）

距離を越えて、からだを越えて、ここでつながった――。



ここに、
いる。

出演：石川瑠華 / 藤原住奈 / きよ / うーさん / まさこ / 優羽 / イトさん / Akane / ユキウサギ / みちお / みか / やまもとよりこ / らい / ことのは / なおき / さえ
監督・撮影・編集：大金康平
リーディング底作：アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ「星の王子さま」（翻訳・構成：池澤夏樹「絵本『星の王子さま』集英社刊）
協力：オリィ研究所 / ソニー・ミュージックアーティスツ
主催：神奈川県
企画製作：公益財団法人神奈川芸術文化財団
制作プロダクション：レゾナージュ
kyosei-kyoso.jp

分身ロボットと創る「星の王子さま」

株式会社レゾナージュ（本社：東京都渋谷区 代表取締役：田中亮祐）は、神奈川県主催の「共生共創事業」（製作・運営：（公財）神奈川芸術文化財団）がプロデュースする「OriHimeプロジェクト」の制作物として、ドキュメンタリー映画「ここに、いる。～分身ロボットと創る『星の王子さま』～」を制作し、神奈川県公式YouTubeチャンネル「かなチャンTV」にて本日15時より公開することをお知らせいたします。

「OriHime プロジェクト」概要

病気や身体障がい等で外出困難な人のために開発された分身ロボット「OriHime」。カフェでの接客や官公庁での受付業務など、自宅に居ながら社会参加が可能となり、導入事例が年々増え続けています。神奈川県が取り組む共生共創事業では昨年度、身体表現性障害を患有方が OriHime 越しに出演する朗読劇作品『ちいさなちいさな王様』を制作・公開。外出困難者と俳優が同じ画面上に共演するという世界初の試みは、共同創作の新たな可能性を見出す大きな一歩となりました。

今年度は、OriHimeを介した創作をさらに深く追究するとともに、本プロジェクトをより多くの方々に知っていたくことを目的として、リーディング作品・プロジェクトの全貌を捉えたドキュメンタリー映画の2本立てにてお届けします。

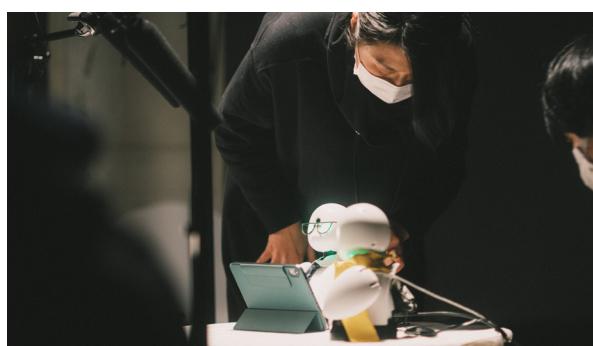
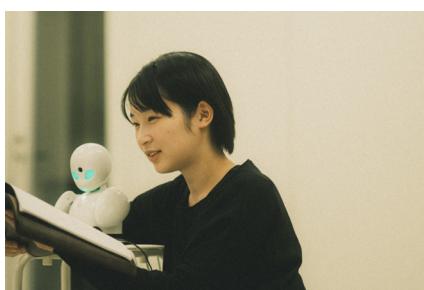
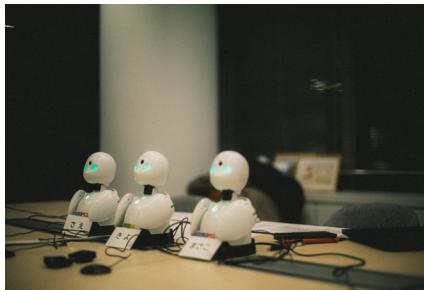
リーディング原作は、初版以来300以上の国と地域の言葉に翻訳され、世界中で愛されている『星の王子さま』。「かんじんなことは目では見えない」という代表的な台詞は、私たちが実際に体験した「俳優と分身ロボットのコミュニケーション」においても重要なキーワードとなりました。

ドキュメンタリー映画を監督したのは、前作『ちいさなちいさな王様』を演出・撮影した映像作家・大金康平。作中リーディングの演出は、演劇家の藤原佳奈が担当しました。

気鋭の俳優・石川瑠華と、さまざまな事情で外出困難な14名のパイロットたちによる、距離とからだの壁を越えた表現の記録にご注目ください。

※朗読劇「星の王子さま」本編も本日同時公開いたします。

リーディング「星の王子さま」稽古風景



リーディング「星の王子さま」本番撮影風景



「OriHime（オリヒメ）」とは？

オリイ研究所により開発された、身体的問題や単身赴任・入院等により外出困難な人のための「分身ロボット」。高さ約23cm、重さ約660g。スマートフォンやタブレット、PCから遠隔・無線で操作する。視界は103°と広く、720pの高解像度をリアルタイムで視聴可能。操作者の声を届けるだけでなく、遠隔で手を挙げる、首を振る、頭を抱えるなど、ボディランゲージができるのも特徴的だ。OriHimeの豊富な感情表現を利用することで、遠方の人との対話やテレワークがより豊かなものとなる。

ここに、 いる。

分身ロボットと創る「星の王子さま」

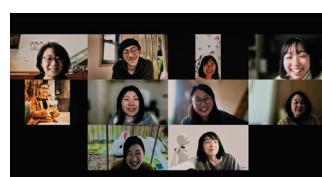
ドキュメンタリー映画
「ここに、いる。～分身ロボットと創る『星の王子さま』～」

あらすじ

演劇家・藤原佳奈によるリーディング作品『星の王子さま』の制作過程に密着したドキュメンタリー映画。

藤原が東京の分身ロボットカフェ DAWN を訪れ、「パイロット」と呼ばれる OriHime 操作者の接客を受ける場面から物語は始まる。長野県在住の藤原は帰宅後、自宅から神奈川にある OriHime に接続し、パイロットの感覚を体験。身体から思考し、時間の結び目を創ることを演劇と捉える藤原は、「この身体で演じるってどんな気分なんやろ…?」という好奇心を抱く。その後、「OriHime パイロットのリーディング出演オーディション」を実施。当初 4 人程度のキャストを想定していたにもかかわらず、オーディションの結果出演決定したのは、なんと 14 名の候補者全員。俳優・石川瑠華も合流し、OriHime を交えた初めての稽古が始まる…。

これは、分身ロボットという「からだ」を通して、「ここにいること」について思考した彼らの、4ヶ月間の記録である。



「星の王子さま」あらすじ

砂漠の真っ只中に不時着した飛行士の前に、不思議な少年が現れる。故障した飛行機を修理できなければ、一週間と命がもたないという極限状態の中で、少年は飛行士のぼくに「ヒツジの絵を描いて …」と話しかけてくる。少年の話から、彼はちいさな星の王子さまであることが分かり、次第に彼の真実が明らかになっていく。（集英社刊 絵本『星の王子さま』HP より抜粋）

予告編 2022.2.11～配信中

<https://youtu.be/YXHSakYKLrl>



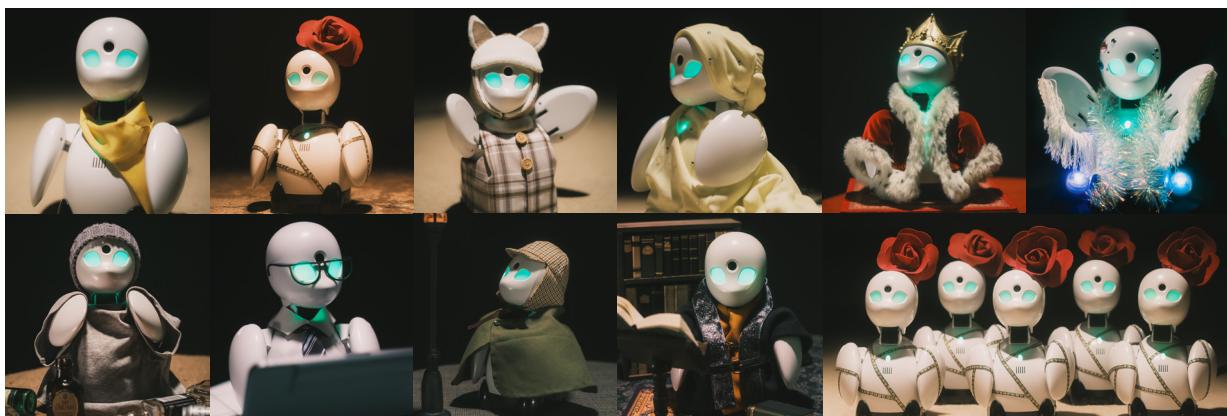
キャスト

石川瑠華

砂漠に不時着する飛行士役には、気鋭の俳優・石川瑠華が抜擢。初の OriHime リーディングに挑戦です。

劇中でOriHimeを操るパイロットは総勢14名。配役はオーディションにて決定しました。主人公・王子さまを演じるのは、鳥取県在住のOriHimeパイロット・きよ。前作『ちいさなちいさな王様』にて主役の王様を演じたさえは今回バラ役として出演するほか、経験者スタッフとして演出助手も担当しました。OriHimeを介して、どのように演出家をサポートしていくのかが見どころです。

※本プレスリリース末尾に、各キャストのプロフィールを掲載しております。



(上段:左→右に) きよ / うーさん / まさこ / 優羽 / イトさん / Akane (下段:左→右に) ユキウサギ / みちお / みか / やまもとよりこ / ちい / ことのは / ナオキ / さえ

配信概要

【作品名】ドキュメンタリー映画「ここに、いる。～分身ロボットと創る『星の王子さま』～」

【配信日時】2022年3月4日(金)15時00分

【配信場所】神奈川県公式YouTubeチャンネル「かなチャンTV」

(<https://www.youtube.com/user/KanagawaPrefPR/featured>)

【料 金】無料

【概要サイト】https://kyosei-kyoso.jp/events/orihime_the_little_prince/

作品クレジット

【出演】石川瑠華 / 藤原佳奈

(以下OriHimeパイロット)

きよ / うーさん / まさこ / 優羽

イトさん / Akane / ユキウサギ

みちお / みか / やまもとよりこ

ちい / ことのは / なおき / さえ

【ナレーション】石川瑠華

【監督・撮影・編集】大金康平

【プロデューサー・整音】田中亮祐

●リーディングスタッフ

【原作】アントワーヌ・ド・サン=テグジュペリ
「星の王子さま」

【翻訳・構成】池澤夏樹
(絵本『星の王子さま』集英社刊)

【脚色・演出】藤原佳奈

【撮影・照明・編集・整音】田中亮祐

【録音】千阪拓也

【美術・OriHime衣裳】園田あけみ

【音楽】角銅真実

【スタイルリスト】岩渕真希

【ヘアメイク】池田奈緒

【OriHimeマネジメント】濱口敬子

【協力】オリィ研究所

ソニー・ミュージックアーティスツ

【主催】神奈川県

【企画製作】(公財)神奈川芸術文化財団

【制作プロダクション】レゾナージュ

令和3年度 文化庁文化芸術創造拠点形成事業

キャストプロフィール (1/2)



石川瑠華 (いしかわ るか) - 飛行士 役

埼玉県出身。2017年舞台『SUGAR WORKS』でデビュー。映画では2019年『イソップの思うツボ』主演、2020年『猿楽町で会いましょう』(第2回未完成映画予告編大賞グランプリ、小原信次賞受賞作) 主演、2021年『うみべの女の子』でダブル主演を務める。また、テレビドラマでは2020年フジテレビ系『13 サーティーン』、2022年TV東京『つまり好きって言いたいんだけど』、舞台では2021年二兎社特別企画 ドラマリーディング3『振り返る人たち』(永井愛構成・演出)に出演するなど、各方面で活躍中。

きよ - 王子さま 役

2021年1月よりOriHimeパイロットとして働く。cafe ツムギ station at Yokohama Kannai、モスバーガーでの接客業務、第48回国際福祉機器展にてOriHimePorterのPRを務める。脳脊髄液減少症で長く起きあがっているのが困難な為、外出や一般的の就労がなかなかできずOriHimeを使用している。

まさこ - キツネ 役

2020年8月SMA MonthにOriHimeで登壇、同年12月小学校でOriHimeでの講演、2021年3月よりcafe ツムギ station at Yokohama Kannai、6月より分身ロボットカフェDAWN verβ、8月よりモスバーガー大崎店で働く。生まれつきSMA(脊髄性筋萎縮性)で、電動車いすで全介助が必要な生活をする。特に呼吸機能が脆弱でコロナウィルスに感染すると重症化リスクが非常に高く、外出できない状態が続いているため、OriHimeで新たな社会参加の形を模索している。

イトさん - 王様 役

2021年6月OriHimeパイロットデビュー。ドイツのリンクで行われた「アルス・エレクトロニカ 2021」にてOriHimeを紹介した英語でのコミュニケーションに参加。第24回国際メディア芸術祭受賞作品展にてOriHime、OriHime-Dで作品案内や店舗紹介を行う。前職のスキルを活かし分身ロボットカフェ2021ハロウインイベント企画有志メンバーに応募、イベント企画やグッズ製作に携わる。進行癌で骨転移による骨折リスクにより杖と車椅子使用、また免疫が低下しており、コロナやその他の感染症への感染を防ぐため外出が困難で、OriHimeを利用している。

ラーさん - 花 役

2021年6月より分身ロボットカフェDAWN verβで勤務。第24回国際メディア芸術祭受賞作品展のアテンド、青森物産展の売り子、ResorTech 沖縄 NTT docomoにてプレゼンを行うほか、2021年9月号BRUTUSで作家の岸田奈美さんとの対談や、YouTubeLive「SMBC Tag!Meet」へ出演するなど積極的に活動している。家族の都合で転居の多いワンオペ育児を続ける中、孤独やストレス抱えたことで心臓を患ったためなかなか定職に就くことが難しかったが、OriHimeで10年ぶりに仕事をしている。

優羽 - ヘビ 役

2021年の分身ロボットカフェDAWN verβにて、OriHimeパイロットデビュー。3年前から突然発症した進行性希少神経難病の為歩行障害があり、OriHimeを使用している。占い師としてカフェで活躍する一方、アマチュアカメラマンとして表現の場を広げている。

Akane - うぬぼれ 役

2019年10月、期間限定の分身ロボットカフェでパイロットデビュー。2020年9月からモスバーガー大崎店、2021年2月からcafe ツムギ station at Yokohama Kannaiで勤務。2021年9月tvk「ハマナビ」でcafe ツムギ stationの取材でOriHimeパイロットとして出演。慢性疲労症候群で、倦怠感や身体の痛みなど、365日絶え間なくインフルエンザのような症状が続いている。座位を含む身体を起した状態を長く続けられないこと、また気温や湿度、気圧などが体調に影響することで外出が困難なためOriHimeを活用している。

キャストプロフィール (2/2)

ユキウサギ - 大酒飲み 役

2021年9月よりOriHimeパイロットとして就業。生後すぐからの疾患と原因不明の諸症状のため活動に制限が生じ、外出困難な状況が断続的に続くためOriHimeを活用している。長い年月を社会と殆ど関わらずにいた影響からか会話にぎこちなさが残るが、ミュージカルや絵本の読み聞かせ等の体験を思い起こし、演技に臨んだ。

みか - 点灯夫 役

2018年からOriHimeパイロットとして働く。神奈川県庁、平塚市役所、オリパラボランティア、展示会、ワークショップなど様々な場所で活躍している。全身の筋肉がだんだん動かなくなる病気、ALS(筋萎縮性側索硬化症)を患い、日常的に介助が必要。外出が難しくOriHimeを通して就業している。

ちい - バラ A 役

2021年6月から分身ロボットカフェDAWN ver.βにて勤務を始める。第24回文化メディア芸術祭受賞作品展にてアテンド業務を行う。筋強直性ジストロフィーを中途発症し、屋外道路を補助具なしで歩行することが困難。また筋強直発作(何かの刺激で小さな筋肉の収縮が止まらなくなる症状)が起こることがあるため全身の様子を見ながらの行動となり、外出しにくくなつたため、OriHimeの利用を始めた。

なおき - バラ C 役

2021年6月よりOriHimeパイロットとして活動している。第24回文化メディア芸術祭受賞作品展でのトークショーに参加。重症心不全により補助人工心臓を装着しており24時間介助者が必要。一人での外出が困難なためOriHimeを利用している。

みちお - 実業家 役

2019年10月にOriHimeパイロットデビュー。カフェでの接客をメインに、展示の説明やウェビナーの冒頭のナレーション等で活躍している。身体表現性障害(身体症)という疾患があり、雑踏や匂い、音などに過敏に反応してしまうため長時間の外出が難しく、OriHimeを利用している。

やまもとよりこ - 地理学者 役

2019年第2回分身ロボットカフェよりOriHimeパイロットとして働き始める。第24回文化メディア芸術祭受賞作品展に参加。第2回分身ロボットカフェでのご縁で、前職のSEとして経験を活かしMicrosoft社にてアクセシビリティの検証業務に従事している。2014年に重症筋無力症という難病を発症し全身の筋肉に力が入りにくくなり介助が必要となつたため、OriHimeを利用している。

ことのは - バラ B 役

2021年9月から分身ロボットカフェDAWN ver.βでパイロットとして働く。第24回文化メディア芸術祭受賞作品展に参加。鬱と偏頭痛の症状が強く、一般職での長時間勤務が困難なためOriHimeを活用して就業している。

さえ - バラ D 役 / リーディング演出助手

2018年にOriHimeパイロットとしての活動を開始。蔦屋書店書店員、神奈川県庁受付、分身ロボットカフェ勤務、また小学校・幼稚施設での絵本読み聞かせや市原悦子追悼朗読会に出演するなど、活躍の場を広げる。2020年度共生共創事業プロデュース「リーディングシネマ『ちいさなちいさな王様』」では主人公の王様役を務める。15年ほど前から身体表現性障害という病気を患い、24時間吐き気やめまいの症状が続くため、外出が困難なためOriHimeを利用している。

スタッフプロフィール

藤原佳奈（ふじわら かな） - リーディング 脚色・演出



演劇家。“身体から思考し、時間の結び目を創る”ことを演劇と捉え、場所や分野を横断しながら活動している。近年携わったものは、とよはし芸術劇場 高校生と創る演劇『Yに浮かぶ』テキスト・演出(2020)、KAAT 視覚言語がつくる演劇のことば『夢の男』テキスト・演出(2021)、AUDIO GAME CENTER+『幽霊のいるところ』ゲームデザイン・テキスト(2021)。野楽プロジェクト『あさまごと』(2021) 等

大金康平（おおがね こうへい） - ドキュメンタリー 監督・撮影



映像作家。1992年生まれ。栃木県出身。日本大学藝術学部映画学科監督コース卒業。中学生の頃から短編映画作りに取り組み、大学在学中は役者として、演劇作品への出演も経験。2017年にショートフィルム「校庭の轍」で第1回 池袋みらい国際映画祭の一般審査員賞、2018年にショートフィルム「那須野が原の花火」で第3回 未完成映画予告編大賞・小原信治賞を受賞。Eテレ「シャキーン!」「ごちそんぐDJ」「グレーテルのかまど スピンオフドラマ」、コブクロ「卒業」MVなど、子ども向け番組やミュージックビデオの演出・撮影も手がける。「映像作家100人2018/2019」に選出。2020年度共生共創事業プロデュース「リーディングシネマ『ちいさなちいさな王様』」監督。

ぞ 舞 個 と
く 台 性 こ
ぞ 、 と
く ん
。

ともに生きる ともに創る
共生共創事業

神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野においても、「ともに生きる ともに創る」を目標に、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施しています。

※本事業は、神奈川県より公益財団法人神奈川芸術文化財団が委託を受け、製作・運営を行います。

本作品に関する取材、宣伝素材提供を承ります。
お気軽にお問合せください。

株式会社レゾナージュ 映像事業部
(担当) 大金康平

メール：ogane-kohei@resonage.co.jp
電話：[03-5309-2281](tel:03-5309-2281)